



学校だより

6月号

ふじのき

横浜市立藤の木小学校

校長 保科 桂子

令和7年5月31日

〒232-0061 横浜市区大岡四丁目10番1号 電話045-731-0606 FAX045-713-7916

学校教育目標

藤の学び合い 響き合い
一人一人を大切にしながら学び合う学校をめざします

「ハンカチ落としでは目をつむるのか」

校長 保科 桂子

「ハンカチ落とし」は、学級のレクや休み時間の遊びなどでよく取り組まれるゲームです。お子さんたちの遊んでいる姿を見ていて気になったのは、「ハンカチ落としでは目をつむるのか」ということです。私が子どもの時の「ハンカチ落とし」を思い返すと、いつ落とされるのかとハンカチを持った鬼の友達をよく見ていて、「あ、持っていない！」とドキドキし、鬼になったときは気づかれないようにうまく落とそうとした覚えがあります。観察する、よく見ることが不可欠のゲームだと思っていましたが、今の「ハンカチ落とし」では、輪になって座ると「みんな目をして！」という声があがっていました。「ハンカチ落とし」のルールをインターネットなどで調べてみると、「輪になって目をつむる」ということが書いてあることが多いので、またびっくりしました。

学校でのレクやゲームなど、発達段階や経験やねらいなどによってルールを変更することはよくあります。ルールを工夫しながら、みんなが楽しめる時間を過ごせるといいなと思います。そういえば、私の子どもの頃には「みそっかす」というシステムもありました。地域によって違うのでしょうか。

5月19日の朝会では、藤の木小学校の教育活動の中でお世話になっている皆さんにお越しいただき、ご紹介する機会をもちました。テレビ朝会で画面越しとなりましたが、「よろしくお願いします」とご挨拶をすることができました。藤の木小地域協働本部（キッコロ応援隊）の皆さん、学援隊で登下校の見守りをしてくださる皆さんが、読書や学習や栽培の活動や安全を支えてくださっています。ぜひ、保護者や地域の皆さんにも知っていただき、ご協力いただければ幸いです。

今年度、藤の木小学校PTAも委員会を休止しボランティア制にしました。保護者の皆様の負担をできるだけ減らすこと、現在の社会や生活を考慮した結果となります。長年「藤の木の子どもたちのために」と力を尽くして下さった保護者の皆さんによって、藤の木の子どもたちの安全や安心の土台が築かれていることを実感し、楽しく有意義な活動に取り組むことができていたことに感謝申し上げます。そして、ボランティア制に移行したからこそ、「本当にやりたいことをやってみよう」と思える一年間であっという間だと思います。昨年度の終わりに決定したことなので、まだまだ手探りのところが多いです。「登校班は？」「ベルマークは？」と今後について考える必要もあるでしょう。ニーズに応じて随時ボランティアの募集をさせていただくことになるかと思いますが、できるときにはぜひお気軽にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。